



## 12月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園  
2023年 12月1日

\*\*保育目標 精進 つとめます\*\*

- ・成道会のお話を聴き、みんなでお祝いをする。
- ・冬の遊び、伝承遊びに挑戦してみる。

【法話】

しょうどうえ  
成道会

佐山地区で、恒例となっていた成道会の行事ですが、今年も、12月8日の当日に園児・職員のみで、園内にて、お祝いをいたします。地域・世代間交流行事が開催できないのは残念で寂しいことです。

「<sup>しょうどうえ</sup>成道会」とは、お釈迦さまが、お覺りをひらかれた日をお祝いする行事です。インドで一国の王子として生まれられたお釈迦さまは、29歳の時、地位も名誉も財産も家族も捨てて、真実の悟りをもとめて出家修行にはいられました。6年の間、多くの師のもと、苦行をされましたが、身も心もおとろえるばかりでした。これではとてもさとすることはできな  
いと山を下り、<sup>にれんげんが</sup>尼連禅河で身を清められました。そして村娘スジャータの差し出した乳がゆで体力を回復され、ピッパラ樹（<sup>ぼだいじゅ</sup>覺られたので菩提樹）の下で静かに瞑想にはいられたのです。そして12月8日、あかつきの明星がひときわ強くまたたくとき、完全な真理の法を覺られたのです。

その覺りとは、縁起の法のことで、＜わたし＞は多くのいのちによって生かされ、また逆に多くのいのちを生かしていく存在であること、その尊い＜いのち＞を生きていく道を、仏教・仏道として、お釈迦さまは、＜わたし＞に、教えて下さいました。

合 掌

4・18日 礼拝 8日 成道会・保護者会役員会

11日 避難訓練 13日 発表会リハーサル

15日 発表会(ぞう・きりん)

発育測定(13日 あひる・ひよこ 14日 ぞう・きりん

15日 うさぎ・りす) 16日 土曜保育なし

20日 クッキー作り

21日 誕生会

27・28日 特別保育 29日から1/3日 休園

### 「すてきなお客様」

小春日和の穏やかな日、園庭のケヤキの落ち葉が舞う中、待ちに待ったお客さまがいらっしやいました。大相撲九州場所で活躍された<sup>ちよたいほう</sup>千代大宝

<sup>まさとぜき</sup>雅人関と、<sup>きむりゅうのすけぎょうじ</sup>弟の木村龍之介行司。お二人ともさやま保育園の卒園児です

ホールでぞう組・きりん組の質問に答えていただきました。「好きな果物は何ですか?」「どんなお風呂に入るのですか?」「車は乗れますか?」「大好きなことは何ですか?」「行司ってどんなことをするのですか?」と、手を上げて、マイクを使ってたくさん質問をしてくれました。その質問にひとつひとつ丁寧に答えていただきました。「さやま保育園の思い出は何ですか?」の答えは、「花まつりで甘茶を飲んだこと、外で遊んだこと」でした。

お相撲さんとやりたいことも一人ひとりが手を上げてお願いしてくれました。「抱っこ、おんぶ、写真、そして、お相撲」やりたい子が順番に、ステージの上でお相撲さんとふれ合いました。落ち葉の園庭で、「かくれんぼ、かけっこ、縄跳び」もいっしょにいただきました。

未満児の保育室にも入って、一人ひとりに優しい笑顔をいただきました。以上児とは、同じテーブルでいっしょに給食も食べていただき、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

保育園を懐かしい場所として、お世話になった先生たちを慕って、お相撲さんと行司さん。子どもたちにとっても、先生たちにとっても、とても嬉しい有り難いひとときでした。さやま保育園は、卒園した子どもたちも、お父さんお母さんも、いつでも温かく迎えらる居場所、家庭でありたいと思っています。先生たちは、ぼだいじゅや卒園写真を見て幼かった思い出を語りながら、「いつでも帰ってきてね。」と、応援しながら待っています。